

# 民報 藤島

2026年 4月26日

第1539

編集発行  
日本共産党藤島支部

生活相談所  
加藤 鉦一 (宝徳)  
Tel.0235-64-3941  
携帯090-8929-4221  
HPは「藤島 加藤 鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい (月200円程度)  
4月 26人 29,690円  
3月 28人 32,800円

## イメージキャラクター募集に395件 ふじしま観光協会 ホームページをリニューアル



ふじしま観光協会・佐藤智信会長

ふじしま観光協会 (会長・佐藤智信・(有)田和楽) の令和8年度総会が21日、出羽商工会藤島支所で開かれました。藤島地域の3大まつりである「ふじの花まつり」や「夏まつり」「秋まつり」、藤島歴史公園Hisu花のイルミネーション、ふじしま観光協会 (会長・佐藤智信・(有)田和楽) の令和8年度総会が21日、出羽商工会藤島支所で開かれました。藤島地域の3大まつりである「ふじの花まつり」や「夏まつり」「秋まつり」、藤島歴史公園Hisu花のイルミネーション、

ふじしま観光協会イメージキャラクター愛称募集



イメージキャラクター

愛称は、3月17日から4月10日まで、SNS等を通じて募集し、395件の応募があり、うち圏外から360数件ありました。4月30日の理事会で決定されます。



つや姫、世若丸、はなゆき生誕の地「市内平野 藤島」  
島は華の花、草の藤島獅子、秋の新米や伊達うどん。  
空には幻想的なHisu花、イルミネーションと  
四季折々に食や文化を楽しむ地域です



リニューアルしたふじしま観光協会HP

## 草木塔祈願祭



藤島山野草愛好会 (工藤正喜会長) は18日、総会を開催し、薬木園にある草木塔の祈願祭を行いました。薬木園は、1999年4月29日に、当時の齋藤伝三郎会長ら有志によって草木塔が建立され、現在の会員有志によって、周辺整備がこなわれ、現在まで守られています。

## ふじしま生き生きクラブ総会 中町老人クラブが全国表彰



を受賞しました。



老人クラブ育成指導功労者として、渡部正弘氏 (八色木上区・写真左) と、石川均氏 (小中島・写真右) が、表彰を受けられました。

鶴岡市老人クラブ連合会藤島支部 (ふじしま生き生きクラブ・佐藤博子会長・写真) の総会が21日、藤島ふれあいセンターで開かれました。

2015年に市連合会に統合し、現在は藤島地区 (中町・下町・野田目・須走) 4クラブ110人と、八栄島地区4クラブ160人の計270人の会員で活動を継続しています。

昨年、60周年記念式典を7月17日、ふれあいセンターで開催し、中町老人クラブが11月6日、水戸市で開催された全国大会で全国表彰 (優良老人クラブ) を受賞しました。



来賓の市老人クラブ連合会会長の日向常浩氏 (写真) が、「健康づくり・地域づくり・仲間づくり」について語り、挨拶をおこないました。役員改選で、会長に佐藤博子さん (中町) 再選、副会長に飯鉢藤夫氏 (八色木下区・会計) と渡部孝子さん (野田目) が選ばれました。

# 渡前小子ども獅子踊り今昔物語

## 子ども獅子誕生秘話⑤

渡前獅子踊り保存会 太田 功

歌手の森進一は「襟す」と歌ったが、苦小裳の春は何もない春で 牧から襟裳岬に向かう



男子16人、女子9人の計25人で、1997年11月1日に初上演

国道235号沿いは、切り立った日高山脈と太平洋に挟まれたわずかな平坦地に、競走用軽種馬を飼養する牧場が多い。

その地の浦河で、筆者の同級生・齋藤巧氏は仕事柄、親交のある牧場主から芦毛のたてがみを手してくれた。

保存会の獅子頭の髭が抜け落ち、補充が必要で、小学校の獅子頭にもつきたい気持ちを汲み、同窓生として一役買って出た。

芦毛とはいえ真っ白ではないため、地元剣道仲間の美容師・則子さんから脱色してもらい、準備が整った。既報の通り、ざるに

見えない頭には鳥の羽がびっしり。口元を表す棒は、筆者がベニヤ板で加工し、クワ形等全体の部材を組み立てた。

発表間近い日に、職場のマネージャー職で、時にポニーに乗馬し、学校訪問していた小野寺勇治氏に出来栄を審査してもらった。

「猪がサラブレッドになったとは、上手く作った」とお墨付きを得た。「馬だけに」と筆者が発したダジャレは通しなかったが…。

満足感に浸りながら



### 九条があるから

米国とイランで、終戦の為の話し合いが始まった事は大歓迎だ。戦争は早く辞めてくれ。アメリカファーストが

関税で世界を揺るがし、この戦争で石油の通り道が塞がったのもアメリカファーストからだ。世界をたった一人の考え方で不正常に行っているんだ。

▲それで思ったのが、これも彼の知恵だったのかと。この戦争が始まる前、両国で普通に交渉が行われ、課題にぶつかったので2日後に話し合いを再開しようとなった。そんな

状況では翌日に話相手から爆撃があるなんて誰も思わないでしょや。それで周到に狙われていたのが、イランの最高指導者だったんだ。

▲だからあの交渉自体が、最高指導者を亡き者にする遠大な仕掛け

のバイクでの帰途。国道に面した商業施設駐車場から急に飛び出した車にブレーキは間に合わず、前輪に追突し、自らは宙に浮き、国道345号に大の字となった。

救急車で運ばれたが、全身打撲とむち打ち程度で済んだ。

九死に一生を得たとはこのことかと巡ったが、後部に括り付けた獅子頭は無傷で、既に神が宿ったかと信心深い自分がいた。…(つづく)

だったと言えるんじゃないですか。しかし、奇襲を決めることが出来るのはたった一人ナンだと。それで、改めて思った事は、高市首相の台湾発言だ。

▲中国と台湾に武力衝突が起きたら、どう考えてもそれは日本の有事で、日本も軍事行動を起こすんだ・と言ったことだ。後で官房長官などが、多くの関係者が色んな状況を持ち寄って有事を判断するものなのだと釈明したがサ。もう決まった事になつていないか？

▲この発言は、中国からと国内からも「取り消せ」と言われても「前から決っていることなんだ」と言ってきたかない。今まで公式に口にしようとしただけなんだと言ったが

▲これを俺達が納得してはイケナイよ。戦争が好きなら首相なんだヨ。だから憲法を変えたいんだからサ。(石川)

### 聴鶯歌

鶯歌を聴く

城貞(藤の花)

水仙落尽曉鶯啼  
声洪倉庚梅別栖  
烏雀離黄酬淑景  
鶯歡春穆好文棲

水仙 落ち尽くして曉鶯 啼く  
声 洪る倉庚 梅に別れて栖む  
烏雀 離黄 淑景に酬いる  
鶯は春の穆らぐを歡び好文に棲む

雪解けを待つて咲いていた水仙もすっかり散り果てて あげがたに、ウグイスが鳴き始めた。一方 鳴かないウグイスは梅の木でない別の木に宿っている。(梅にウグイス、松に鶴と言う) 烏やスズメ、ウグイスが春の景色に応えるかのように 歌いさえずっている。ウグイスは 春のうららかなさを楽しむように 梅の木で囀っている。



鶯歌 〓ウグイスの鳴き声。 曉鶯 〓あげがたに鳴くウグイス。  
洪 〓声を出さない。 倉庚 〓ウグイス。 栖 〓鳥がやどる。  
離黄 〓ウグイス。 酬 〓答える。 淑景 〓春景色。 鶯 〓ウグイス。  
歡 〓喜。 春穆 〓春うらかな様子。 好文 〓梅。